ドミニカ共和国内政（地中海ミバエ：報道）

　４月７日、ドミニカ共和国「リスティン・ディアリオ」紙はドミニカ共和国が米国に対して輸出一時停止措置の解除を要請した件について報じているところ、概要以下のとおり。

（見出し）ドミニカ共和国政府が米国に輸出禁止措置の解除を要請

１．　エステベス農務大臣は昨日、ドミニカ共和国政府が農務省を通じて、米国動植物衛生検査部局（APHIS）に対して、ドミニカ共和国産の果物及び野菜の輸出禁止措置解除の要請書を提出したとしつつ以下のように述べた。

　厳密に管理し続けた結果、地中海ミバエの個体数を５０％に減少させ、プンタカナ国際空港から半径２２ｋｍ範囲に封じ込めている。

　我々の手順は完璧で15日以内に地中海ミバエの個体数を半分以下にした。そして、４月７日から、４日に飛行機で到着した特殊な対処薬を使用し始めることになっており、それによってより厳格なコントロールが可能となる。

　全国に22,000個のトラップを仕掛けているが、他の場所で地中海ミバエは見つかっていない。この問題を一ヶ月の間に完全にコントロール出来るようにすべく３倍の労力を投入していると述べた。

　エステベス大臣は、今回の問題にもかかわらず、これらの果物や野菜は、代わりとなる市場への輸出が出来なくなったわけでは無い、規制が続いている状況が生産者にとって大きな苦悩となっているが、最も重要なことは、地中海ミバエを根絶することであると述べた。

　ドミニカ共和国農業ビジネス委員会（JAD）のオスマール・ベニテス事務局長は、代わりとなる市場を探すことに努力を集中しており、ここ２週間でアボカドと野菜を４７コンテナ分発送することにが出来たと述べた。

　今週ドミニカ共和国にタークス・カイコス諸島とバハマの買い手一行がドミニカ共和国産の農産物を買い付けに来る予定であり、さらに、そこに輸出するための船も押さえてあると付け加えた。

　同様に、ベニテス局長は、あるサンクトペテルブルク（ロシア）の会社が10コンテナ分のグリーンアボカドを買い取る事に興味を示している。しかしながら、海上輸送には難点があるので、海運協会を通じて解決策を探している。また、アボカドを販売しているイタリアの会社とも交渉中であると述べた。

　３月１９日に米国動植物衛生検査部局（APHIS）は、ドミニカ共和国からの果物や野菜の米国への輸出を禁止している。